

# 設立趣旨書

NPO ヤマビルプロジェクト  
設立代表者 田中 大介

## 1. 趣旨

私たちはヤマビルによる吸血被害者を一人でも減らすとともに、ヤマビルの生息地拡大を防ぐことを目的として活動します。現在、日本全国の里山や住宅街でヤマビルによる吸血被害が発生しています。ヤマビルは、5月から11月にかけて吸血行動が活発になり、人間や野生動物を吸血して卵を産み増殖します。精神的、肉体的な苦痛を与えるだけでなく、二次的な影響として、ヤマビルが住宅の庭に侵入し草取りなどの手入れが困難になったり、安心して子どもを外で遊ばせることができなくなったりする可能性が高くなります。また、農業従事者の中には作業中の吸血被害を恐れて、離農する人も出ています。

地球規模の問題である温暖化は、ヤマビルの生息地拡大や北上化を招きます。将来を見据えた対策をとらなければ、ヤマビルによる吸血被害が増えることは明確です。

こうしたヤマビル蔓延問題は、環境を整えることとヤマビルへの具体的な対策などを啓蒙することにより、吸血被害はもとよりヤマビルの侵入、定着、生息地拡大が抑制できると思われれます。

そこで本協会は、農林業従事者、登山者、ハイカーの安全を守るため、次の三つのことを行っていきたいと考えます。一つ目は、ヤマビルに関する啓蒙活動です。具体的には、ヤマビルが多く生息する林道入り口などに看板を設置したり、小学校へヤマビルによる吸血被害と防除方法を伝える出前授業や資料(自主制作DVD等)の配布を考えています。二つ目は、ヤマビルは乾燥に弱いことから、生息地になりそうな里山の不要な落ち葉や枯れ木などを片付けるなど、身近な里山の環境整備を実践し、被害を抑えたいと考えます。三つ目は、本会員が開発した忌避剤を安価で提供していきます。これら三つの活動を中心に、吸血被害を減少させるとともに、ヤマビルの生息地拡大と北上化を防ぐことを目的に、本団体を設立します。

私たちの活動は公正かつ透明性の高い運営を行い、社会的な信用を得て幅広く活動したいと考えます。ただし、この会は多くの会員がボランティアとして参加し、事業目的も営利を目的とはしないため、会社法人の形式は似つかわしくありません。よって、団体の設立が望ましいと考えます。

皆様の幅広い参加と、ご支援をお願いいたします。

## 2 設立に至るまでの経過

「一人でも多くのヤマビルの吸血被害者を減らしたい」という思いから、本団体は忌避剤の開発に成功し、特許を取得しています。

さらにヤマビル対策に関する活動を拡大していくことを考えております。そして、ボランティアを受け入れられる体制を整えたいということでNPOへの団体組織化を検討し始めました。